

研究タイトル:

建設インフラ材料の開発と長寿命化



氏名: 温品達也 / NUKUSHINA Tatusya E-mail: nukushina@tokuyama.ac.jp

職名: 准教授 学位: 博士(工学)

所属学会・協会: 日本コンクリート工学会, 土木学会

キーワード: コンクリート, インフラ材料, 塩害, 中性化, 温度ひび割れ

技術相談
提供可能技術:

- ・コンクリートの配合
- ・コンクリート施工技術の評価
- ・温度ひび割れ検証

研究内容:

1) コンクリート構造物の品質確保

構造物の耐久性を確保し、長く使うためには新設時の配慮が重要になります。特に、コンクリートの表層部分は水や酸素、塩分など劣化因子の侵入経路となることから、品質を確保するために様々な取組みがなされています。品質確保のためにコンクリート施工時における要点や問題の解決等を研究します。

2) コンクリート構造物の温度ひび割れ, その他劣化

コンクリート構造物の温度ひび割れ, 塩害, 中性化, 凍害などの抑制対策や劣化状況などを研究します。

3) コンクリート材料

コンクリート材料に関する事項全般について調査・研究します。

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	